

平成 26 年度宮城県後期高齢者医療広域連合懇談会

意見の概要

1 懇談会開催日時

| 地区 | 開催地 | 開催日時 | 開催場所 | 参加者数 |
|----|-----|--|------------------|------|
| 県南 | 亘理町 | 平成 26 年 11 月 6 日 (木) 13 時 30 分から 15 時 40 分 | 亘理町役場大会議室 | 9 名 |
| 県央 | 名取市 | 平成 26 年 11 月 13 日 (木) 13 時 30 分から 15 時 00 分 | 名取市役所 5 階第 1 会議室 | 9 名 |
| 県北 | 色麻町 | 平成 26 年 11 月 20 日 (木) 13 時 30 分から 15 時 15 分 | 色麻町役場 3 階第 1 会議室 | 7 名 |

2 懇談会の概要

事務局から、広域連合の事業概要を説明後、下記の内容について参加者から意見を伺った。

1. ジェネリック医薬品について
2. その他の事項

3 目次

| | | |
|-------|-----------|-----|
| 県南地区分 | ・ ・ ・ ・ ・ | P 1 |
| 県央地区分 | ・ ・ ・ ・ ・ | P 2 |
| 県北地区分 | ・ ・ ・ ・ ・ | P 3 |

ジェネリック医薬品について

- ジェネリック医薬品の広報の仕方を変えた方がいいのではないかと。
- 薬剤師に勧められジェネリック医薬品に替えてみたが、始めは不安だった。
- 複数種類の薬を処方されているが、ジェネリック希望カードを出すことによってすべての薬がジェネリック医薬品に替わってしまうのでは、という不安があり出しづらい。
- 薬局では、ジェネリック医薬品にできる薬がある場合にはなるべく声掛けをしているというところが多い。
- 歯科では院内で薬を出しているが、ジェネリック医薬品は種類が多すぎて把握しきれない。
- 薬局ですべてのジェネリック医薬品を取り扱っているわけではない。普段使わない薬は取り扱っていない場合もある。血圧の薬で言えば先発医薬品もジェネリック医薬品も差はないと思う。

医薬品に関する技術はどんどん進んでいて、30年前に比べてかなりハイレベルな医薬品をどんな製薬会社でも簡単に作れる時代になった。大きい病院でもジェネリック医薬品を使っているのが国民の信頼を得ているという認識を持っている。アメリカでは昔からジェネリック医薬品を使っている。飲んで不安な時は遠慮せず医師に聞いてほしい。

その他の事項

- 健康診査費とあるが、人間ドック等を独自で受診している人に対する助成等あるのか。

→健康診査の実施については、各市町村に広域連合で依頼し、市町村の市民健診等を受けてもらっている場合が多いが、市町村によって実施方法は異なるので確認をとってもらいたい。（事務局）

- 欧米では第三の人生に入ると筋力トレーニングを始めたりするのが盛んだと聞いた。日本の高齢者の方も元気に活躍してほしい。

栄養面で言えば、塩分の取り方に留意してほしい。塩化ナトリウムではなく、海のミネラルが入った塩だと体にいいのでそういったものをとってもらいたい。

ジェネリック医薬品について

●ジェネリック医薬品への切替えは医者の特許が必要になると思うが、患者からは言い出しにくい。ジェネリック希望カードを持っていても切替えづらいと思う。

●患者からジェネリック医薬品を使いたいと言い出しにくい。医師から言っていただけると助かる。お互いが言いやすい環境作りをしてほしい。

●糖尿病の方から、ジェネリック医薬品を使用することで薬代が安くなり助かったという話を聞いた。

●ジェネリック医薬品が調剤薬局で取り扱われていない場合がある。

→薬局は正当な理由がない場合は拒むことができない。取り寄せることができるので申し出てほしい。（薬剤師）

●ジェネリック医薬品差額通知事業というものを初めて知った。

●医師の立場としては、ジェネリック医薬品と先発医薬品とはまったく同じとは言えないが、医療費を減らすことは必要なので、主治医と相談して切り替えてほしい。

その他の事項

●後期高齢者医療制度が変わるといったような記事がでていたが。

→後期高齢者医療制度は、高齢者の負担を軽減するために始まった制度であるが、制度運営していくための若年者の負担が大きくなっていることから、保険料の軽減制度を廃止する検討を国で行っているがまだ決定はしていない。

●同一の症状で複数の医療機関を受診し、複数の医療機関から重複して薬をもらって使用せず余らせてしまったりといったような、漫然と治療を受けている被保険者も多い。その辺りを指導してほしい。

→重複頻回受診については広域連合で対応を検討している。（事務局）

→薬局に申し出て貰えば、お薬手帳を活用して薬を仕分けするので相談してほしい。（薬剤師）

ジェネリック医薬品について

●ジェネリック医薬品へ切り替えてほしいと言葉でいうより、ジェネリック希望カードを提示して切り替えられるのは便利だと思う。

●ジェネリック医薬品が制度としていいのはわかるが、患者から見ると先発医薬品であるかジェネリック医薬品であるかは問題ではなく、良い薬をもらって早く治したいというのが一般的な考えだと思う。

●医師が忙しそうだとジェネリック医薬品に切替えてほしいと言いだしにくい。

●ジェネリック医薬品を使用すると医師の診療報酬が低くなって、その分所得が減るのではないかと思いき相談できない。

→厚生労働省では今年の 4 月から、ジェネリック医薬品を処方すると診療報酬が増えるように改定している。（事務局）

●歯科で使う薬は限られており、自分は先発医薬品を使用している。ジェネリック医薬品の使用には医師の判断が必要であるので使用に関して問題はないと思う。

その他の事項

●一人当たりの医療費が随分かかっているように思うが。

→この数字は単純に総医療費額を被保険者の人数で割って出した平均額なので、病院に掛かっていない人から見ると高額に感じるかもしれない。（事務局）

●医療費が膨らんでいくのを防ぐ方法はないのか。

→広域連合では健康診査事業を実施している。病気の早期発見、早期治療ができれば医療費の削減につながる。（事務局）

→歯科医師の立場から言えば、口腔ケアを含めた歯科医療の受診率が高くなれば、健康維持に繋がり、医療費を下げることができると思う。歯科健診事業をきっかけに改善していければと思っている。（歯科医師）

●保険料を納めない被保険者にはどのように対応するのか。

→市町村と連携して滞納者の生活状況を調査し、悪質な被保険者には差押えという対応をとる場合もある。少しでも未納額を減らす努力をしたいと思っている。（事務局）